



第4回地域・まちづくり委員会を開催しました！

2024年11月13日（水）に講師に一般社団法人マザーズコンフォート代表 大谷 明子さんをお迎えし、「困難を抱える女性たちへの支援～安心できる居場所づくり～」と題して公開学習会を開催しました。

地域・まちづくり委員以外に、学習テーマに興味のある各会員生協役職員にも参加を呼びかけ、オンラインでの後日配信も含めて31名の当日参加と申し込みがありました。

一社) マザーズコンフォートは、千葉市で産前・産後のママ、産後うつのママの育児支援、居場所の提供、訪問支援、10代の女の子の支援・居場所提供・電話・メール相談支援をおこなっています。2018年に拠点をかまえ、2019年に一般社団法人化 2021年千葉市女性のためのつながり支援事業を受託継続中、2024年千葉県困難な問題を抱える女性支援事業をそれぞれ受託しています。今回は多岐にわたる女性支援の活動の中から委員会の年間テーマである「居場所」の提供活動を中心に話していただきました。

マザーズコンフォートでは生きづらさを抱えている若年女性に対して面談をおこないながら最適な支援の形を提供しています。一時的に過ごす場所から、シェルターの役割の居場所、次の居住が決まるまでの宿泊場所など状況に応じて様々です。また面談をしながら行政や医療、児相など様々な関係機関との連携や、制度に当てはまらない場合は団体が支援するなどきめ細やかな対応をおこなっています。最近では支援対象も小学校高学年など低年齢化していますが、未成年への支援は両親との関係もありとても難しいとのこと。

参加者からは、「家庭の中での居場所がない子ども（女の子）の話はとても重たいもので、そこで苦しんでいる多感な時期の子どもたち

への支援が行政ではなかなかできない。」「生協の居場所づくりは誰でも参加できるが、この団体の居場所は少人数やひとりひとりに向きあうなど、本来の居場所の役割を果たしている」「支援が継続的に続くこと、育つ環境などの根本的な部分が変わらないと難しいのではないか」「連携先をもっと知りたい」「なかなか知ることのできない社会的な課題で、生協として何ができるのか、考える機会になりました」などの意見や感想がありました。



大谷 明子さん



会場の様子

以上